

第33回国立大学法人筑波技術大学経営協議会議事要旨

- 1 日 時 平成24年1月20日（金） 14：00～15：40
- 2 場 所 国立大学法人筑波技術大学管理棟大会議室
- 3 出席者 石川 護、石野富志三郎、石原保志、稲田利光、大越教夫、小野 東、川村恒明、北原保雄、関 正夫、谷川彰英、廣瀬 寛、村上芳則、渡部安雄
（五十音順、職名省略）
オブザーバー 小林武弘（監事） 西山良昭（監事）

4 配布資料

- (1) 第32回国立大学法人筑波技術大学経営協議会議事要旨（案）
- (2)-1 国立大学法人筑波技術大学運営費交付金等の会計処理取扱細則の一部改正（案）の概要
- (2)-2 国立大学法人筑波技術大学運営費交付金等の会計処理取扱細則新旧対照表（案）
- (3) 平成23年度第二次学内補正予算（案）
- (4)-1 平成24年度予算案の概要
- (4)-2 平成24年度文部科学関係予算案について
- (4)-3 平成24年度文部科学関係予算案主要事項
- (5)-1 平成24年度入試実施状況
- (5)-2 平成24年度協定校対象外国人留学生第3年次編入学実施状況
- (6) 監査報告書
- (7) 筑波技術大学財務レポート 2010（平成22）年度版
- (8) 平成23年度経営協議会学外委員からの意見についての対応状況

議事に先立ち、オブザーバーである小林新監事の紹介があった。

5 議 事

(1) 前回議事要旨の確認について

議長から、資料1に基づき説明があり、(3) 報告事項④平成22事業年度財務諸表の承認について、平成21年度事業年度を平成22事業年度に修正することにより、承認された。

(2) 審議事項

- ①国立大学法人筑波技術大学運営費交付金等の会計処理取扱細則の一部改正について
財務課長から、資料2-1及び資料2-2に基づき、運営費交付金債務の収益化について、文部科学省から収益化基準が示されたことにより、会計処理取扱細則の改定する

旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

②平成23年度第二次学内補正予算について

財務課長から、資料3に基づき、職員の定期昇給に伴う退職給付引当金の増額などの第二次学内補正予算の編成方針及び内容について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(3) 報告事項

①平成24年度予算の内示について

財務課長から、資料4-1から資料4-3に基づき、平成24年度筑波技術大学予算の内容及び平成24年度文部科学関係予算について報告があった。

また、石原委員から、平成23年度まで5年間行ってきた特別経費事業が認められ、平成24年度から一般経費に組替られた旨の説明があった。

②平成24年度入試実施状況について

聴覚障害系支援課長及び視覚障害系支援課長から、資料5-1から資料5-2に基づき、産業技術学部と保健科学部の推薦・社会人入試の入試実施状況、保健科学部アドミッション・オフィス入試の合格状況及び産業技術学部の外国人留学生第3年次編入学の結果について報告があり、各委員より入試の状況を踏まえ、以下の意見があった。

- ・受験者数が少なく、本学の存在を知らない学生が多いと思われる。もっと周知する必要があるのではないか。
- ・定員に満たないことが続けば、今後の大学の在り方が問われてくるのではないか。
- ・地方での試験実施など検討することが必要ではないか。
- ・時代のニーズにあった専攻や定員数など検討が必要であり、2、3年のうちに方向性を示した方が良いのではないか。
- ・資料5-1について、合格率を表して頂きたい。

なお、議長から意見に対して、筑波技術大学将来構想諮問委員会を設けており保健科学部鍼灸学専攻の将来について、入学定員や教育内容の見直しなど外部委員からの意見を踏まえ検討をしており、来年度末までには計画をまとめた旨の説明があった。また、社会に広くアピールするための広報手段としてつくばエクスプレスのつくば駅と秋葉原駅にサインボードを掲示した旨の報告があった。

③監事監査の結果報告について

財務課長から、資料6に基づき、平成23年12月14日に行われた監事監査の結果について報告があった。

④財務レポートについて

財務課長から、資料7に基づき、学内外に大学の財務情報を伝えるため、平成22年度の財務レポートを発行した旨の報告があった。

⑤平成23年度経営協議会学外委員からの意見についての対応状況について

議長から、資料8に基づき、前回の経営協議会において、学外委員から出された意見の対応状況について報告があった。

以上